

# アンゴラ共和国月報

2017年3月号  
在アンゴラ日本国大使館

主な出来事

## 【内政】

- 選挙人登録プロセスの終了(30日)。

## 【外交】

- 日本大使の信任状捧呈(16日)。
- 日本大使の国防大臣、ヴィセンテ副大統領及び国会議長への着任表敬訪問(30日)。
- ロウレンソ国防大臣の訪西(3月13～15日)。
- アンゴラ、ノルウェーの2021～22年国連安保理非常任理事国への立候補を支持(29日)。
- ロシアによるナミベ州への精油所建設計画の発表(9日)。

## 【経済】

- IMFミッションのアンゴラ訪問(22日～29日)。
- ラウーカ・ダム の運用開始(11日)。
- 新外貨配分法案の検討開始(24日)。

## 内政

### 1 選挙人登録の終了

28日、アルメイダ総務副大臣は、31日に終了となる選挙人登録プロセスにおいて、これまでに、当初予想された通り900万人のアンゴラ市民が登録されたと発表した。ジョルナル・デ・アンゴラ紙に対して、同副大臣は、登録された900万人のうち、650万人が過去に登録されたことのある選挙人で、250万人が新たに登録された選挙人であると語った。また、同副大臣は、大多数の有権者はすでに登録されているものの、未だ全体が登録された訳ではないと認めた。選挙人登録プロセスは、30日に終了(JA 3/29)。

### 2 中絶違法化に対するデモ

18日、厳重な警察の監視の下、ルアンダにて、約200名が人口妊娠中絶を全て違法化する法案に反対するデモを行った。全ての中絶を

違法化する新刑法は、イザベル・ドス・サントス氏を含む多くの有識者によって、激しく批判されている(PRI 3/18)。

### 3 総務大臣の人材育成重視の発言

デ・ソウザ総務大臣は、アンゴラ運営行政連合(AGAA)でのプレゼンテーションの席上、国家の再建の段階から現代的な発展の段階への移行を達成するためには、学校・病院・港湾・空港・省庁の建物・ダム・水処理施設等のインフラ建設だけでは事足りるものではなく、官民の別を問わず、有能な行政官が必要であると述べた(Footprint to Africa 3/27)。

## 外交

### 1 日アンゴラ関係

#### (1) 日本大使の信任状捧呈

16日、日本の澤田洋典大使は信任状を捧呈し、アンゴラとの関係強化を願う天皇陛下のお

言葉を伝達した。また、同大使は大きな潜在力を有し、経済多角化の途上にあるアンゴラとの関係を強化するため努力すると述べた。日本政府は2000万ドルをナミベ港改修計画第二フェーズに対し供与。近年、日本の知見を活かした稲の栽培や職業訓練等が行われている。両国の協力関係は1988年にUNICEFを通じた緊急支援から開始した（JA 3/17）。

#### （2）ロウレンソ国防大臣への着任表敬訪問

30日、澤田洋典大使は、ロウレンソ国防大臣を着任表敬。同大使は、アンゴラ経済の成長が阻まれている事態に関し、アンゴラには豊富な天然資源というポテンシャルがある点を再確認。また、日本は、アンゴラの経済多角化の推進及び貧困削減へ貢献する用意があるとし、様々なプロジェクトが実行段階にあると述べた。加えて、同大使は、アンゴラの地雷除去プロセスに対し、日本の同分野における知見は助けとなり得、同プロセスによって農業用地が拡大され得ると述べた（AP 3/30, JA 3/31）。

#### （3）ヴィセンテ副大統領への着任表敬

30日、澤田洋典大使は、ヴィセンテ副大統領を着任表敬。特に経済分野における二国間関係の深化を優先事項とし続ける意向を強調（AP 3/30, JA 3/31）。

#### （4）ピエダーデ国会議長への着任表敬

30日、澤田洋典大使は、ピエダーデ・ディアス・ドス・サントス国会議長を着任表敬。1月に日本の参議院代表団がアンゴラを往訪した際のアンゴラ側の歓待に謝意を表明した（AP 3/30）。

#### （5）ベンゲラ総合病院への白内障手術器導入

9日、ルアンダにおいて、ベンゲラ総合病院眼科センターへの白内障手術器導入プロジェクトのために、日本政府から101,000米ドルが供与された。ルイス・バラダ・ベンゲラ州総合病院眼科センター長は、当該手術器を導入することにより、白内障手術の能力が向上し、

白内障患者の待機時間を減らすことができると述べた（AP 3/10）。

## 2 ス페인・アンゴラ関係

### ロウレンソ国防大臣のスペイン訪問

3月13～15日にかけて、ロウレンソ国防大臣はスペインを訪問。同国防大臣及びマリア・ドロレス・デ・コスペダ国防大臣は、防衛部門における新たな協力協定に署名を行った。13日、ロウレンソ大臣はラホイ首相を表敬訪問。同大臣は、エアバスの施設を訪問し、Fernando Alonso 社長と面談を行った。近年、両国関係は拡大しており、特に金融、安全保障及び内務省同士の関係に立脚した治安維持の分野におけるプロジェクトを進めている（JA 3/15）。

## 3 ロウレンソ国防大臣の外遊

（1）ロウレンソ国防大臣は、ドス・サントス大統領の代理で18日に行われるSADC臨時首脳会合に出席するため、17日からスワジランド王国を訪問。ロウレンソ大臣はSADC首脳会合の前に開催された閣僚級会合にも出席。同会合のマージンで、ロウレンソ国防大臣はムスワティ3世スワジランド国王、ロザリオ・モザンビーク首相及びバディンバンガ・コンゴ（民）首相と会談を行い、コンゴ（民）首相との面談にてドス・サントス大統領のメッセージを手交した。17日夕刻、同大臣はハッサ・タンザニア副大統領とも会談を行った（JA 3/18）。

（2）18日、臨時首脳会合後に発表された声明にて、同地域の首脳らはドス・サントス大統領の政治・経済アジェンダ進展及びアンゴラと地域の社会・経済発展に対する貢献を賞賛し、「首脳会合は、ドス・サントス大統領が大統領職を退き、与党がジョアン・ロウレンソ国防大臣を今年8月の選挙における大統領候補として指名したことをテイクノートする」旨発表された。首脳会合のマージンにて、同大臣はゲインコブ・ナミビア大統領、ムガベ・ジンバブエ大

統領，ズマ南ア大統領及びラジャオナリマンピ  
アナ・マダガスカル大統領と会談を行った  
(JA 3/19)。

(3) ロウレンソ国防大臣は，SADC臨時首  
脳会合の後，モザンビークとザンビアを訪問。  
ニュシ・モザンビーク大統領及びルング・ザン  
ビア大統領に，それぞれドス・サントス大統領  
の親書を手交した (JA 3/20, AP 3/21)。

#### 4 ポーランド・アンゴラ関係

##### (1) 1億ドルの対アンゴラ新規借款

BGK (ポーランド開発銀行) は，アンゴラ  
に対して，1億ドルのクレジットラインを開設  
した。同クレジットラインは，10年間の償還  
期限の間に，漁業・運輸・農業等の諸プロジェ  
クトを対象に貸し付けられる (EX 3/24)。

##### (2) セメント工場建設計画

ポーランドの企業家団体は，本年中にウイラ  
州ルバンゴにてセメント工場を建設する見込み  
(EX 3/10)。

#### 5 中国・アンゴラ関係

##### (1) 財務大臣の訪中

マンゲイラ財務大臣及び中国の2つの金融機  
関は，配水システム及び鉱物部門に関する2件  
の合意書に署名した。在中国アンゴラ大使館の  
プレスリリースによると，Eximbank との間で7  
680万ドルの国家鉱物資源計画に対し653  
0万ドルを同銀行が融資する合意書を，また，  
中国開発銀行との間で職業訓練学校及びデー  
タベースセンターの建設及び資材供給への融資に  
関するMOUが署名された。同プロジェクトは  
エネルギー・水省の管轄であり，4150万ド  
ルのプロジェクト費用のうち3530万ドルが  
同行によって融資される。マンゲイラ財務大臣  
は省庁横断的な代表団を率い，その中にはタ  
ヴァレス内務大臣，トマス運輸大臣，ボルジェ  
ス・エネルギー・水大臣，フォルトゥナト建設  
大臣及びパンゾBDA (アンゴラ開発銀行) 理  
事の他，事務方の高官も含まれている (JA

3/18)。

##### (2) ルアンダ州の水道設備計画

E P A L ( Empresa Pública de  
Abastecimento de Luanda, ルアンダ水供給公  
社) は，中国企業 Sinohydro Corporation との  
間に，4件の契約を調印。アンゴラ企業とのパ  
ートナーシップの下，Icolo, Bengo, Bom  
Jesus において水道センターの建設を行う。LLC  
(Linha de Crédito da China, 中国クレジッ  
トライン) の融資に基づき，同計画には，電  
力・水省から14億ドルが予算配分される (EX  
3/31)。

##### (3) 中国大使のルンダ・ノルテ州訪問

3月22日，駐アンゴラ中国大使は，ドウン  
ド市にて，ルンダ・ノルテ州の発展のために中  
国人投資家と協調する旨を表明。同大使は，ル  
オ (Luó) 鉱山も訪問し，州政府の担当からダ  
イヤモンド商業化に関する詳細な説明を受けた。  
同大使は，ムアンガラ州知事に表敬訪問し，ゴ  
ムの樹の植林及び稲作の再稼働の必要性につき  
説明を受けた。同大使は，中国には180件の  
新規計画に対して融資する用意があると述べた  
(EX 3/24)。

##### (4) 中国大使のルンダ・スル州訪問

中国大使は，中国はアンゴラ東部，特にルン  
ダ・スル州における農業，工業及び加工業への  
投資に関心があるとサウリモにて発表した。カ  
ンディダ・ナルシーゾ・ルンダ・スル州知事と  
の面談にて，同大使はルンダ・スル州，中国の  
湖南省及び広州市における開発を促進するため  
協力を強化すると表明。州知事との面談につき，  
「協力深化についての意見交換を行い，よい結  
果をもたらすことを期待している」と述べた。  
同大使は，習近平主席とドス・サントス大統領  
の間の経済・財政援助に関する合意をもとに，  
地方訪問を行っている (JA 3/23)。

##### (3) 公衆衛生案件の受注

大統領令により，China Harbour

Engineering Company 及び Sinohydro Corporation が、クアンザ・スル州スンベでの基礎的な公衆衛生設備の整備案件を受注した旨が発表された (JA 3/12)。

#### (4) 受刑中の Sam Pa 氏の動き

現在香港の刑務所にて受刑中の Sam Pa 氏 (注：徐京華とも。中国の元情報系高官で、クインズウェイ・グループのフィクサーと呼ばれており、中国の対アフリカ投資を牽引) は、Rodman group の株式の残り 40% を購入するディールを取り付けるべく、自身の兄弟である Soo Chee Chan 氏をスペインのガリシアに派遣した。Chan 氏は、Jhon Ong チャイナ・ソナンゴル社長に伴われ、同グループの Metalships 社及び Polyships 社を訪問。同社の 60% はすでに購入済みで、今次ディールが実現すれば、シンガポールに本社を有する国際企業チャイナ・ソナンゴルが 100% 同グループを保有することになる (La Voz de Galicia 3/1)。

#### 6 北朝鮮・アンゴラ関係

北朝鮮は像やモニュメントの製造技術を有しており、国連制裁決議はそれらの輸出を禁止しているものの、アンゴラとエチオピアを含む 15ヶ国のアフリカ諸国に輸出している。専門家委員会のミッションは、2016年9月に、北朝鮮企業がアンゴラにおいて建設を行っているとも報告した (Asia Nikkei 3/2)。

#### 7 韓国・アンゴラ関係

Hwang In-moo 韓国副国防大臣は、3月最終週、エジプト及びアンゴラを歴訪。31日にロレンソ国防大臣を表敬訪問し、二国間防衛関係の強化に関して協議。同時に、北朝鮮の核ミサイル問題に関して国際的な圧力を強化するよう、アンゴラに要請 (yonhapnews 3/27)。

#### 8 ロシアがナミベ州に精油所を建設

(1) 3月9日に署名された大統領令により、120億ドルを投じて、NAMREF (ロシア企業2社の合弁企業。Rail Standard Service

が75%、Fortland Consulting Company が25%) により、ナミベ州に精油所が建設されることが決定。

(2) 1000ヘクタールの土地の使用権が保証されている他、日量2万8千バレルの原油を第一フェーズの3年半の間に、日量3万6千400バレルの原油を最終フェーズの11年間に、ロシアがアンゴラから購入することが義務づけられている。また、8年間に亘って各種税金が控除され、配当の海外送金も保証されている。

(3) 本件投資は、ソナンゴルがベンゲラ精油所建設を停止し、アンゴラ政府がソヨ精油所建設計画の見直しを図っている現下に決定された (CK 3/13)。

#### 9 ノルウェー・アンゴラ関係

3月29日、Tone Skogen ノルウェー副外務大臣はアウグスト外務副大臣を表敬訪問。アンゴラとノルウェーは、現在アンゴラの観光産業促進のためノルウェー国民のビザの便宜供与につき協働している。また、アウグスト外務副大臣は、ノルウェーは首都のオスロにアンゴラ政府の代表部が設置されることを望んでおり。アンゴラ側も関心があるものの、財政的な状況により叶わない事態にあると述べた。ノルウェーはアンゴラにとって石油分野の活発なパートナーであり、他国及びBAIとともに投資ファンド「FIPA」に参加している。ノルウェーが独立闘争を支持した後、アンゴラとノルウェーは1976年から協力関係を開始しており、ノルウェーはアンゴラの独立を承認した最初の国の一角を成す。アンゴラがかつて助けを必要としていた時節にノルウェーが支援したことに報いる形で、アンゴラは、2021~22年を任期の国連安保理非常任理事国選挙にてノルウェーを支持する旨発表した (JA 3/30)。

#### 10 欧州委員会・アンゴラ関係

欧州委員会は、BCE (欧州中銀)、IMF、世銀及びアフリカ開発銀行を動員し、BNA

(アンゴラ中央銀行)に対して技術協力を行う意向。欧州委員会は、近くIMF及び世銀に対してプロポーザルを提出する構え。欧州委員会は、BCEでBNAの幹部を育成するとともに、アンゴラに対して専門家を派遣する構え(EX 3/10)。

### 1.1 世銀・アンゴラ関係

世銀は、サブサハラ・アフリカを対象に、570億ドルの融資を行うと表明。内、アンゴラの3州(ビエ州、ウアンボ州及びマランジェ州)における農業案件を対象に、7億3600万ドルが2021年まで貸し付けられる。承認されたプロジェクトに対して、既に3億3200万ドルが貸し付けられている(EX 3/31)。

### 1.2 英国・アンゴラ関係

(1) 28日、ケイロス地質鉱山大臣は、ロンドンで開催された英アンゴラ貿易投資フォーラムの席上、アンゴラにおける汚職は複雑な現象であり、次期大統領にとって優先課題となり得ると語った(JN 3/28)。

(2) 28日、トビアス・エルウッド英中東アフリカ大臣は、アンゴラを対象として投資する英国企業向けファンドを、5億ポンド(6.2億ドル)から7.5億ポンド(9.5億ドル)にまで50%増額するとの声明を発表した。同フォーラムには、ケイロス地質鉱山大臣(首席代表)及びフロール建設副大臣等が参加(VOA 3/28)。

### 1.3 米国・アンゴラ関係

#### (1) 米大使のロウレンソ国防大臣表敬

29日、ヘレナ・ラ・リメ米大使は、ロウレンソ国防大臣を表敬訪問。アンゴラと米国間の防衛分野での協力に関し、特にオバンガメエクスプレス2017へのアンゴラチームの参加が集中的に言及された。同大使は、同合同演習はAFRICOMが主催しており、海上防衛を主領域としていると述べた。オバンガメエクスプレス2017(注:米海軍がギニア湾の安全

保障の向上のために実施する周辺国との合同訓練)は、3月31日まで開催。ギニア湾岸諸国の海軍が軍船のオペレーションによって海域の脅威に対処するための能力及び鋭敏性を強化する狙いがある。リメ米大使は28日に海軍基地を往訪し、20日前にすでに一度ロウレンソ国防大臣を訪問していた。同大使は、米国はより多くのアンゴラ人を人材育成するとともに、会議や長期に亘る米軍の学校でのコースへの参加等のために受け入れる用意があると述べた(JA 3/30)。

#### (2) 米のアンゴラ産原油輸入控え

1月以降、米国は、アンゴラ産原油の輸入を控えている。直近の3週間は、米国によるアンゴラ産原油の輸入は全くない。2016年1～5月間、米国は、当時のアンゴラの一日あたりの産油量170万バレルの約10%に相当する17.3万バレルを輸入。米エネルギー情報局(EIA)のデータによれば、2017年以降、米国によるアンゴラ産原油の輸入量が最大だったのは、2017年第一週で、14.2万バレル/日。その次の週には、2.2万バレル/日にまで落ち込んだ(EX 3/24)。

#### (3) 米國務省のレポート

米國務省の報告書「2017年薬物規制国際戦略」によれば、ポルトガルは引き続き、高級不動産、金融機関及び企業等の多岐に亘る分野へのアンゴラ人による投資及び中国のグループによる資本増につき、監視すべきであるとの勧告を受けた。同報告書では、ポルトガルはアンゴラ政府高官クラスによる資金洗浄のハブとしての嫌疑を寄せられている(CK 3/9)。

### 1.4 コンゴ(民)・アンゴラ関係

15日、レオナルド・オキトウンドウ・コンゴ(民)副大統領兼外務大臣は、ドス・サントス大統領に表敬訪問を行い、カビラ大統領の親書を手交。同副大統領は、チセケディ野党党首の死去によって悪化しつつある政権移行期におけ

る困難な政治情勢を解決すべく、同国における様々な政治グループが努力している旨述べた。ドス・サントス大統領表敬に同席したシコティ外務大臣は、コンゴ(民)国内問題に対するアンゴラ政府の立場を強調し、アンゴラは大湖地域国際会議議長国として隣国の情勢を注視していると述べた。また、同大臣は、アンゴラは現在SADCの安全保障問題の副議長国であり、同枠組みにおける責任からもコンゴ(民)情勢を注視しており、MONUSCOの撤退につき懸念を表明した(JA 3/16)。

### 15 ポルトガル・アンゴラ関係

27日、ネト漁業大臣は、アンゴラは現在、ポルトガルのアヴェイロ大学とのパートナーシップの下、ハイテクな海洋調査船を建造中であると発表した(AA 3/28)。

## 経済

### 1 主要経済指標

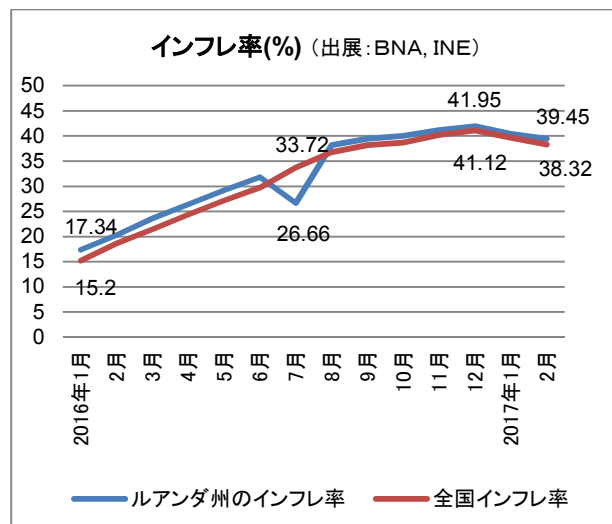
#### (1) 物価

ア 国家統計院(INE)が発表したルアンダ州における2月期の年間インフレ率は、39.45%。昨年同月と比較して19.19pp上昇した。月間物価上昇率は2.59%。

イ 物価指数が前月比で最も上昇したのは、教育(43.89%)、モノ・サービス(3.57%)、ホテル・カフェ・レストラン(3.16%)、アルコール飲料・タバコ(3.04%)。

ウ 国家統計院(INE)が新規に導入したアンゴラ全国版の2月期の年間インフレ率は、38.32%。昨年同月と比較して20.06pp上昇した。月間物価上昇率は2.30%。

エ 物価指数が前月比で最も上昇したのは、教育(36.05%)、衣服・履物(3.02%)、モノ・サービス(3.01%)、アルコール飲料・タバコ(2.95%)。

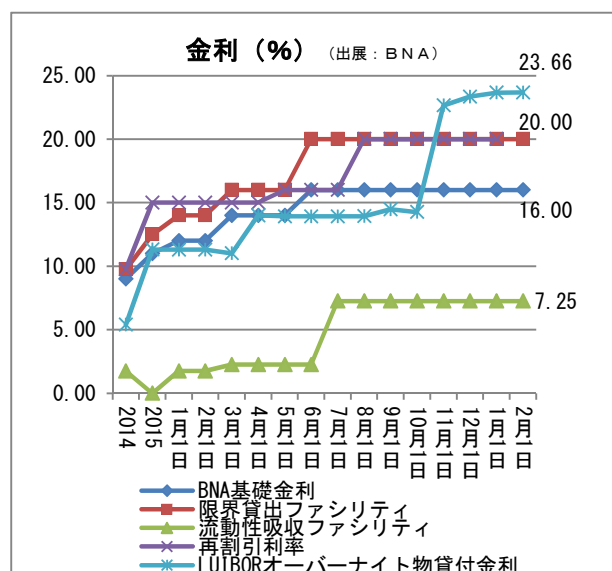


### (2) 金利

ア 2月27日に開催された第64回金融政策委員会(CPM)は、政策金利のBNA基礎利率(Taxa BNA)は、年率16.00%と前月から維持と発表。

イ 流動性吸収ファシリティ(市中銀行がBNAに預けている準備預金のうち、法定額を超過した部分に対するオーバーナイト当たりの利率)は年率7.25%で前月と変わらず。

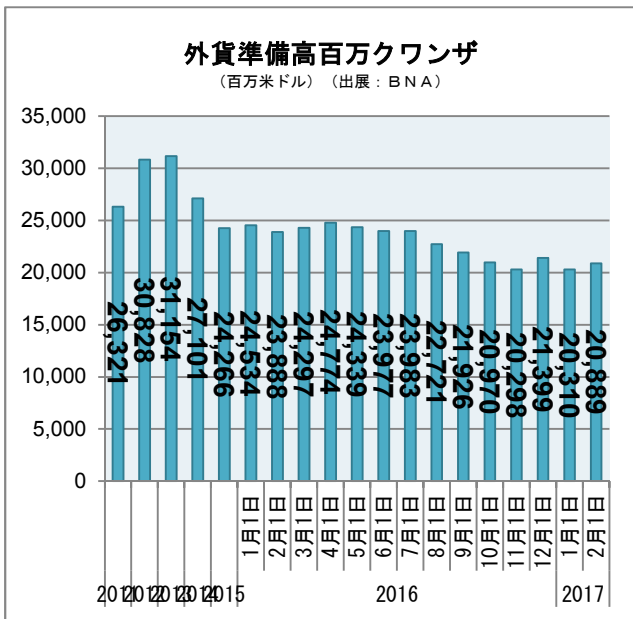
ウ 限界貸出ファシリティ(BNAから市中銀行へのオーバーナイト物貸付金利)は年率20.00%で前月と変わらず。



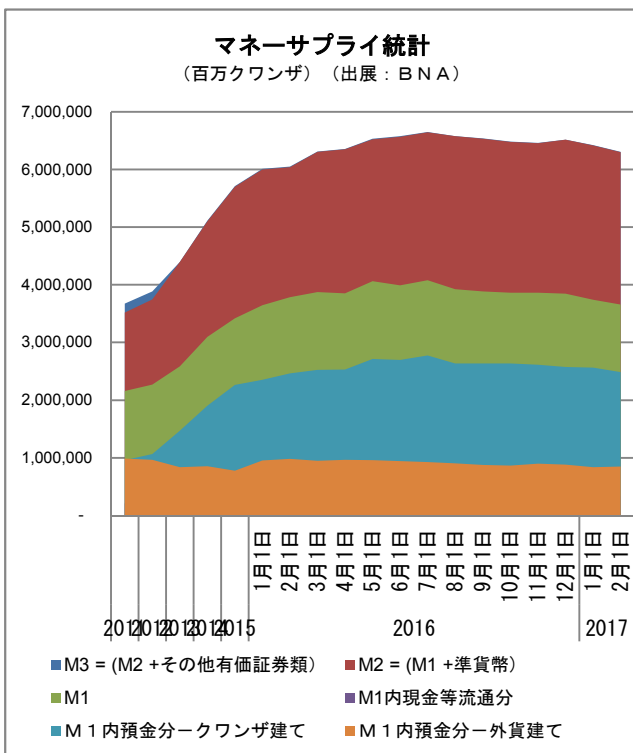
### (3) 為替市場

2月末、為替相場は1USD=165.73158 AKZで推移(前月比0.6442クワンザ高)。

(4) BNA 発表の外貨準備高統計

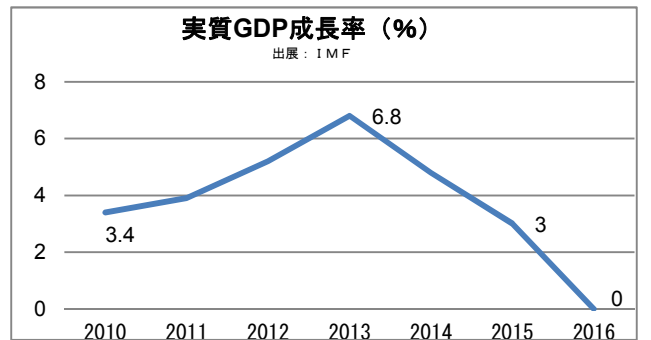
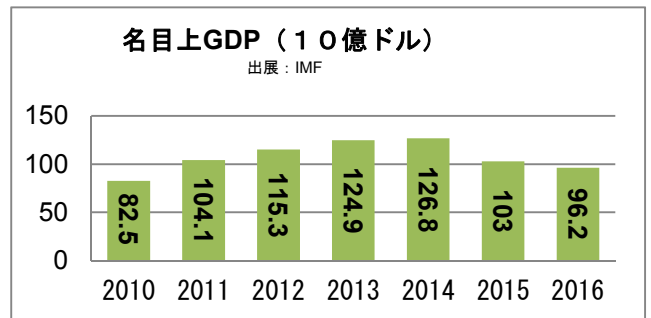


(5) マネーサプライ統計

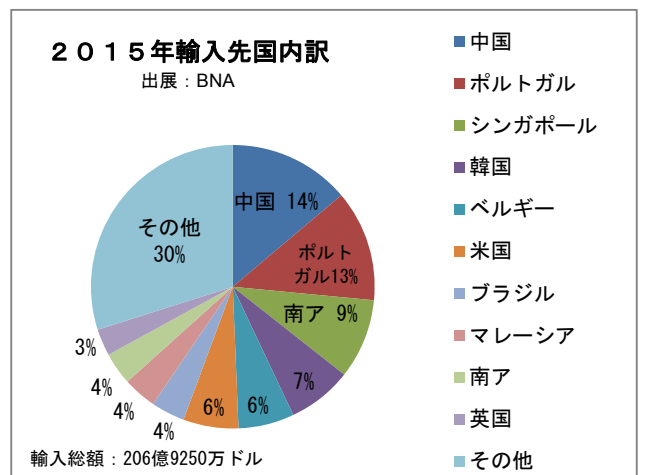
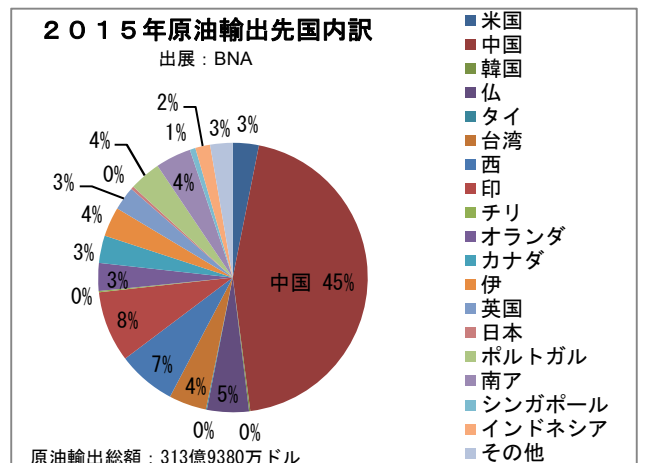


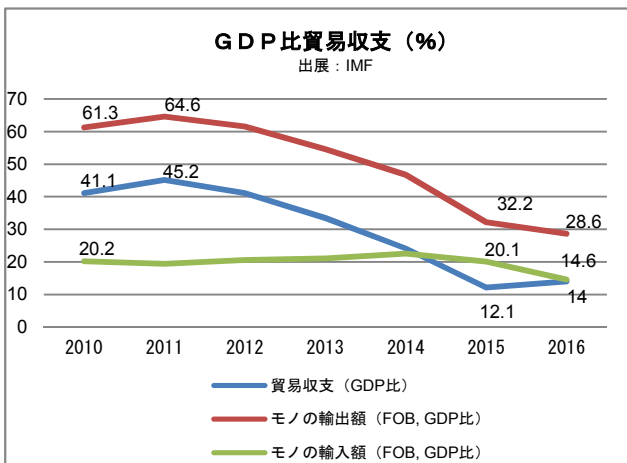
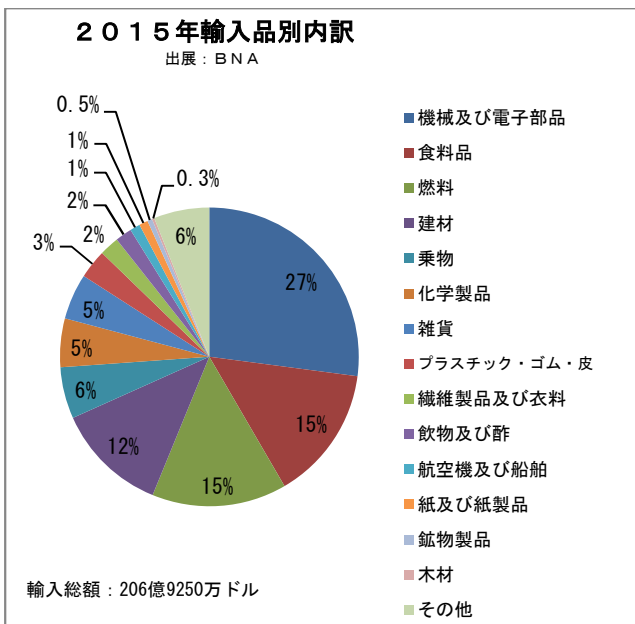
2016				2017		百万クワンザ
9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	1月1日	2月1日	
6,538,964	6,482,453	6,460,358	6,519,777	6,420,683	6,307,030	M3 = (M2 + その他有価証券類)
6,534,723	6,478,496	6,456,622	6,515,973	6,416,863	6,303,125	M2 = (M1 + 準貨幣)
3,886,645	3,862,185	3,862,108	3,844,723	3,738,782	3,659,028	M1
376,736	361,771	349,591	386,203	335,890	329,595	M1内現金等流通分
3,509,910	3,500,414	3,512,517	3,458,520	3,402,892	3,329,432	M1内預金分
2,633,945	2,634,636	2,612,512	2,575,548	2,565,653	2,484,321	M1内預金分-クワンザ建て
875,965	865,778	900,005	882,972	837,239	845,112	M1内預金分-外貨建て

(6) GDP 及び成長率



(7) 主要貿易統計





### 1 競争入札案件の公示

アンゴラは、アフリカ開発銀行からの借款に基づき、漁業セクター支援プロジェクトを行っている。今般、8基のディーゼル発電機調達を対象として、競争入札を公示 (ESI Africa 3/29)。

### 2 2月の原油輸出額

2月のアンゴラの石油輸出総額は、平均価格52.8ドル/バレルで4733万7430バレルを輸出し、1月比30%減の6.17億ユーロとなった。1月のアンゴラの石油輸出総額は、過去16ヶ月間で最高額を記録していた (JN 3/24)。

### 3 クワンザ流通量の減少

BNAが発表したデータによれば、1月から2月にかけて、アンゴラの金融市場から6700万ユーロに相当する120億5900万クワンザが取り除かれ、2月時点でのクワンザの流通総額は24.4億ユーロに相当する4356億5900万クワンザ。昨年12月から本年1月にかけては、すでに486億6100万クワンザが流通網から除かれていた。過去数週間に亘って、銀行間取引ATM (multibanco) の前には、クワンザ建てでの引き出しのために長蛇の列をなしていた (OB 3/28)。

### 4 外貨供給量の増加

BNAが一次産品市場向けの外貨販売額を三倍にしている状況において、非公式市場でのドルを調達する価格が徐々に下落しつつあり、最安値の1ドル360クワンザを記録した。1ヶ月前、BNAはわずか1億8230万ユーロしか供給していなかったが、3月6日の週、5億570万ユーロを市場に供給。2月27日の週の4億920万ユーロから増額した。2月20日の週は3億4860万ユーロを市場に供給。直近の外貨供給では、工業部門が最大の販売先となり、2億650万ユーロを配分され、旅行費用の支払い、家族への支援、保健及び教育は1790万ユーロ、また、同額をクレジットカードの支払いに配分された (JA 3/18)。

### 5 IMFスタッフビジット

4条協議の準備のために22日から29日の日程でアンゴラを訪問した、ヒカルド・ヴェリョーゾIMFミッション団長は、現在2%以上の月間物価上昇率を抑えるために取り組むべきであると警鐘を鳴らした。また、同団長は、BNAによる市中の現地通貨クワンザ吸収の取り組みは、公定レート of 3倍近くに乖離した非公式レートの調整の上で、望ましいと評価 (EX 3/31)。

### 5 石油為替法改定に向けた協議開始



現行の石油為替法ではクワンザでのみアンゴラ国内での支払が可能となっているが、一部支払を外貨建てで行えるように改訂する可能性あり (EX 3/10)。

## 5 外貨配分法案

(1) 財務省が起案した「為替市場オペレーションの調整枠組み一運営化に向けた取り組み及び行動指針 (Ajustamento do quadro operacional do mercado cambial – Medidas e Acções para Operacionalização)」法案には、5つの政策項目があり、その第1項目には、アンゴラ地場銀行28行から5～6行のエリート銀行を選出し、BNAが配分する外貨の80%を割り当てるとの案が記載されている。同政策案が対象とする地場銀行の候補は、BAI (アンゴラ投資銀行)、BIC銀行、エコノミコ銀行、ミレニウム・アトランティコ銀行、BNI (アンゴラ・ビジネス投資銀行)、及びソル銀行。同候補銀行のリストには、海外資本によってコントロールされているアンゴラ地場銀行は記載されていない。

(2) 為替市場及び外貨に関連し、同法案には、2種類の外貨配分スキームを導入すると記載されている。一つ目は、指向性外貨販売 (Vendas Dirigidas) で、食べ物や生活必需品 (cesta básica) を対象とした割り当てを行う。もう一つは、為替オークションであり、その他重要項目を対象として外貨を配分。BNAは、双方の外貨販売枠組みは、入札ベースで行われると説明。しかし、当該法案には、オークション形式とは明確には記載していない。過去、外貨オークションが導入されていた時代にも、クワンザの大幅な下落を回避するために、金融当局は最もクワンザを安く入札した申請を除外していた (EX 3/24)。

## 6 BPCの改革

(1) 3月24日、パイシャオン・ジュニオール頭取以下、政府系銀行BPC (信用貯蓄銀行)

の取締役役員は罷免された。元中銀副総裁であるリカルド・ダブレウ (Ricardo D' Abreu) 新頭取以下、新取締役会は、コンサル企業KPMGによる資本家及び構造改革計画に基づき、総員全体の24%に相当する1200名の人員削減及び124程度の支店の閉鎖を伴う改革を、2018年末までに行うと発表した。

(2) BPC株主会は、900億クワンザの資本金を同行に注入する旨を承認した。2月2日の大統領令では、4億500万ドルに相当する675億クワンザの公債を、同行救済のために発行する旨が承認された。2016年15日付大統領令では、BPCの不良債権部門であるRecredit-Gestão de Activosのために、13.75億ドルに相当する2311億2700万クワンザ分の長期国債を発行する旨が承認された。アンゴラ最大の地場銀行を救済するために発行された公債発行額の合計は、18億ドル相当の3000億クワンザ。

(3) アンゴラの主たる市中銀行の経営内容は以下の通り (EX 3/31)。

※金額は10億クワンザ。	支店数	従業員数	資産の部	負債及び純資産の部	利益	預金額
BPC	406	5354	1340	927	8	911
BIC銀行	223	2089	978	291	28	742
BFA(アンゴラ興業銀行)	191	2610	1230	221	38	1017
BAI(アンゴラ投資銀行)	145	2004	1098	354	15	938
BE(エコノミコ銀行)	83	1061	860	N.A.	10	509
BPA(旧アトランティコ銀行)	N.A.	N.A.	N.A.	246	11	N.A.

## 7 BNAの貸し倒れ金

(1) 本年から発表が開始したBNAの報告書及び統計によると、2015年、BNAがエコノミコ銀行/旧BESA銀行及びBANCO銀行に対して貸し付けた借款2.44億ドル相当の330億クワンザが貸し倒れ金となった。不良債権化した2.44億ドルの内訳は、2.14億ドルがエコノミコ銀行で、残りの3000万ドルがBANCO。

(2) BNAによれば、再割引オペレーションにより、損失が発生。2015年12月31日、BNAは1567億クワンザの借款を当該2行に供与。1437億クワンザがエコノミコ銀行向けで、130億クワンザがBANC向け(EX 3/31)。

#### 8 ルンダ・ノルテ州のダイヤモンド開発

ルンダ・ノルテ州クアンゴ市において、半年前に開設された半工業的ダイヤモンド採掘企業家組合CJCKは、すでに300名の若手採掘者組合員を擁していると、クラウディオ・ジョゼ・ダ・コスタ・カサンジェ組合会長は述べた。同会長は、すでに200万ドルを投じて、物流の仕組みを整備したと述べた(EX 3/31)。

#### 9 ラウーカ・ダム の運用開始

(1) 3月11日、ドス・サントス大統領は、ラウーカ・ダムに注水を開始。続く第二段階においては、3月12日から4月12日の30日間で発電タービンの試験運用を行う予定であり、

同試験に最低限必要な水量は、水深800メートル(5.53億m<sup>3</sup>)。第三段階には、4月12日から7月12日までの90日間で、水深830メートル(2.6億m<sup>3</sup>)まで注水される予定。第四段階では、水深850メートル(5.5億m<sup>3</sup>)まで水が注水され、2018年の雨期まで継続する見込み。

(2) 本年7月に同ダムの発電は開始するとみられており、8月には更に2基のタービンが稼働する予定。残りの2基のタービンは、9月に稼働開始の予定。2018年12月には、北部系統・中央系統及び南部系統が、接続される見込み。

(3) 試験中のラウーカ・ダムは、最終的に発電量が2070MWとなり、カンバンベ・ダム(960MW)及びカパンダ・ダム(520MW)を大きく凌ぐ(EX 3/24)。